

整理番号	HT28197	分野	医歯薬学	(キーワード)行動薬理学、創薬
------	---------	----	------	-----------------

名城大学

くすりの効き目の見分け方～秘伝の技、伝授します～

先生(代表者)	間宮隆吉(まみやたかよし) 薬学部・准教授			
自己紹介	1972年ねずみ年生まれ。岐阜県立関高校出身。 小学生の頃、お腹が痛くなった時に薬を飲み、“なぜ治るんだろう？”と感じて以来、薬を意識するようになりました。 その約30年後、ねずみの力を借りながら、ストレスに効く薬の開発研究に取り組んでいます。			
開催日時・主な募集対象	平成28年8月24日(水)	(対象)	中学生	(人数) 20名
集合場所・時間	名城大学八事キャンパス薬学部		(集合時間)	9:30
開催会場	名城大学八事キャンパス薬学部 3号館1階101教室 住所: 〒468-8503 名古屋市天白区八事山150 アクセスマップ: http://www.meijo-u.ac.jp/guide/access.html			
内 容				
<p>あなたや、家族が飲んでいるくすり。 痛み止め、血圧を下げるくすり、認知症のくすり。。</p> <p> どうやってできたのだろうか？ 新薬開発に欠かせない基礎研究。マウスを使った行動薬理学的手法を紹介しながら、その見極め方を伝授します。。</p> <p></p>				
スケジュール			持 ち 物	
9:30-10:00 受付 (名城大学八事キャンパス3号館1階101教室集合)			筆記用具	
10:00-10:05 開講式(挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)			特 記 事 項	
10:05-10:50 講義(「医薬品の開発～身近なくすりの薬理学的研究～」および実験の説明(講師:間宮隆吉))				
10:50-11:00 休憩			本企画ではハツカネズミを使用します。動物アレルギーのある方は参加できません。 白衣および昼食は本学で用意します。	
11:00-12:00 実験動物のハンドリングおよび模擬投与練習				
12:00-13:00 昼食、休憩				
13:00-14:00 マウスを用いた実験1(認知行動を観察)				
14:00-14:30 休憩				
14:30-15:30 マウスを用いた実験観察2(情動行動を観察)				
15:30-15:40 まとめ、修了証授与式、アンケート記入				
15:45 解散				

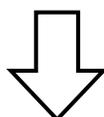
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	名城大学 学術研究支援センター 安田 健一（やすだ けんいち）
住所：	〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1-501
TEL 番号：	052-838-2035
FAX 番号：	052-833-7200
E-mail：	arsuisui@ccml.meijo-u.ac.jp
申込締切日：	平成28年7月31日(日)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
間宮隆吉	平成 22 - 23 年度	若手研究 (B)	22790233	慢性的に不安や恐怖感情に曝された時に起こる性機能障害
間宮隆吉	平成 24 - 26 年度	基盤研究 (C)	24590304	自己回復機能向上による新たな精神疾患治療法の確立
間宮隆吉	平成 27 - 30 年度	基盤研究 (C)	15K08218	自発的運動によって活性化される脳内分子のレジリエンス亢進作用の解明と応用研究



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。